

〔様式 1〕

事務事業評価表

記入年月日	平成16年4月16日			
平成16年度	事業コード	11310	電話	042-769-8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課	課	
事務事業名	障害児者宿泊費助成			
予算上の事務事業名	障害児者宿泊費助成			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第3節	障害者の自立支援と社会参加	63以前年度
施策名	第1施策	自立して生活を実現するための環境づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

市障害児者等宿泊費助成要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)	
障害者が宿泊施設を利用した場合に宿泊費の一部を助成することにより、社会参加の支援を図る。	障害児者・特定疾患罹患者	
	対象数	単位
	16,209	人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容		
障害者が宿泊が宿泊施設を利用した場合に宿泊費の一部を助成する。 1年度内に一人につき1回一泊に対し3,000円の助成 @3,000円×1,569人=4,707千円(見込み)		
(4)個別計画の概要	概要	
計画名	相模原市障害者福祉計画	障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービスを体系的に提供する。実施計画(前期H10~14、中期H15~18、後期H19~22) スポーツ・レクリエーションの振興
計画年次	10年度~22年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	宿泊費助成制度利用者増加率	前年を100した場合の当該年度の割合(%)	障害者の宿泊を伴う外出機会の拡大状況を計る。	8	9	-1	22	0
	活動指標	対象者のうち、当該利用者の割合(%)	障害者の社会参加の支援状況を計る。	11	11	10	12	12

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	4,392	4,770	4,707	5,754	5,879
	人員・時間数	30H・年	30H・年	30H・年	30H・年	30H・年
	人件費	119	119	120	119	119
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	4,511	4,889	4,827	5,873	5,998
	特定財源	0	0	0	0	0
	対象数(人)	13,745	14,427	16,209	16,396	16,498
	単位あたり経費(円)	328.2	338.9	297.8	358.2	363.6

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	制度利用者は年々増加しており、障害児者の社会参加が促進している。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 障害児者の社会参加の促進をするうえで必要な制度となっている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		障害児者の自立支援と社会参加を促進するうえで、有効な制度となっている。
		説明	
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 事務処理経費が低く、効率的な事業である。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	障害等級に関わらず、全ての障害児者が対象者となっているため不公平はない。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
制度についての周知を図ることにより利用者の拡大を図る。		特になし	

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較 本市と同規模の横須賀市では、同制度の実施はない。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	障害児者の社会参加を促進させることができる当制度は有効なものである。 なお、近年のノーマライゼーションの意識の高まりとともに、障害者の社会参加の機会が拡充される中、障害者個人を対象としている宿泊費助成等の事業に、より多くの人に参加できるよう予算上の配慮をしたことを踏まえ、在宅重度障害者社会参加促進事業「ふれあいの旅」を廃止した経緯がある。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:廃止> 事業内容が単なる金銭助成であること、また、対象者のうちの利用者の割合が低いことから「障害児者の社会参加」という事業目的が達成されているか疑問であり、事業を廃止して有効な社会参加促進事業を検討すべきである